

医科研病院だより



第14号

発行：東京大学医科学研究所附属病院
平成24年1月15日
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
代表電話03-3443-8111
ホームページ <http://www.transrec.jp/>

CONTENTS

新年のご挨拶／トピックス	1
すこやか・カフェ	2
栄養サブリ	3
なんでも・ひろば	4

新年のご挨拶

病院長 今井 浩三

皆様、新年のご挨拶を申し上げます。

患者さんには、1日も早いご回復をお祈りいたします。

昨年は、東北大震災など大変な年でありましたが、本年こそ、皆様が幸せでありますよう祈念いたしております。

さて昨年は、医療サービスのさらなる向上になるよう、「市民公開医療懇談会」を毎月開催いたしました。この中には、ご関心の高い「原発事故と医科研近隣放射線線量について」、「素人のよさが生きる都民ボランティア活動報告」「東日本大震災 医療NGO-AMDAによる医療支援一刻々と変わる被災地のニーズに対応することの重要性（港区医師会 高岡邦子先生による特別講演）」なども含まれ、病院8階のホールは、満員の盛況でした。秋には、「慢性疲労症候群」のアメリカ人患者さんが自らお作りになった映画「I remember me」の映写会も開催できました。(ノ)

(ノ) さらに、「地域医療連携室」も活動を本格化しており、現在では、新しい患者さんの20%近くは、この仕組みをご利用いただくようになりました。都内のみならず、全国の患者さんとネットワークが作れるようになりました。

世界で初めて可能となります「脳腫瘍に対する新しいウイルス治療」のため、東大医学部より藤堂具紀教授を医科研病院に迎えました。今後も難しい病気に挑戦し、少しでも患者さんのためになるよう、職員一同、力をあわせて努力します。

患者さんからのご要望がありましたら、いつでもお寄せくださるようお願い致します。



トピックス

◆昨年12月7日に、恒例のクリスマスコンサートが病院棟8階のトミーホールにおいて開催されました。昨年に引き続き今年も聖心女子学院・中高等科の有志のみなさんがおいで下さいました。

グノー「Ave Maria」の全員合唱に始まり、ヒット曲やクリスマスソングで踊るダンスや、松任谷由実の懐かしの名曲「やさしさに包まれたなら」の手話による歌、華麗な衣装で舞うフラメンコ、息がぴったりの素晴らしいオーケストラ演奏などを披露していただきました。



クリスマスコンサートでそれぞれの演目をご披露くださる聖心女子学院のみなさん

◆昨年12月17日に、病院棟エントランスロビーにおいて、医師、研究者、音楽家グループのボランティアによる東北復興支援アフタヌーンコンサートが開催されました。

クリスマスの季節に馴染み深い音楽の演奏とともに、岩手ことばによる「雨ニモマケズ」の朗読などをご披露くださり、来場者の心を暖めてくださいました。

また、会場において集まったご寄付1万390円は、東京大学を通じて東日本大震災復興支援金として寄付致しました。



東北復興支援アフタヌーンコンサートのようす

◆病院からのお知らせ◆

●臨床検体の取扱いにつきまして

当院での保存・追加採取検体を用いた臨床研究名をお知りになりたい方は

http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/ore/IMSUT_ORE_7.html
をご覧ください。

すこやか・カフェ



はじめまして、脳腫瘍外科です

脳腫瘍外科 稲生 靖

脳腫瘍外科は、藤堂具紀教授を診療科長として当院に新しく設置され、平成23年10月から外来をオープンいたしました。脳腫瘍全般を診療の対象としていますが、グリオーマ（神経膠腫）に代表される悪性脳腫瘍の治療を得意とします。脳腫瘍の種類は、「すこやか・カフェ」のメニューには書ききれないほどたくさんあります。それぞれ基本となる治療法が異なるのに加え、腫瘍のできた場所、大きさや広がり、症状とその進行具合、さらに年齢などの情報を綿密に検討したうえで、治療のレシピを選びます。手術、放射線治療、化学療法などを駆使した総合的な治療と、細やかな維持療法および慎重な経過観察により、質の高い医療を実践しています。治療開始前の方、他院で手術を終えた後に放射線治療と化学療法が必要な方、治療を終えた後に経過観察中の方、再発腫瘍の治療の方など診療範囲は幅広く、脳腫瘍外科としての専門的な視点で治療を進めていきます。

悪性脳腫瘍は従来の治療法がなかなか効かない手ごわい病気ですが、脳腫瘍外科ではウイルス療法という新しい治療法の研究開発も進めています。G（ジー）47Δ（デルタ）という治療用ウイルスを再発膠芽腫の腫瘍内に注入する臨床研究を、東大病院と連携して進めています。今回は、この聞きなれない治療方法の、しくみや研究内容などについてお話ししましょう。

● ウイルス療法のしくみ

ウイルスは生き物でしょうか。まるで禅問答のようですが、細胞や細菌とは違ってウイルスは自分だけでは増えることができません。ウイルスが増えるためには、人間などの細胞に感染しそれを乗っ取ってしまう、すなわち感染した細胞のDNA複製、タンパク合成や細胞分裂のしくみをウイルス自身のために借用する必要があります。一方、(ノ)

(ノ)ウイルスに感染された細胞のほうは、性質が変化したり（病気になったり）破壊され死んでしまったりします。

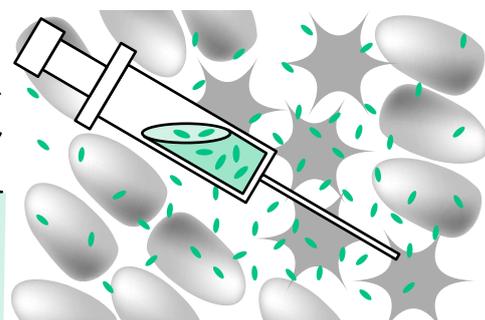
悪性腫瘍の細胞には、正常な細胞とは異なる性質がいくつもあります。その差をうまく利用して、腫瘍細胞に感染すると効率よく増える一方、正常細胞に感染した場合には何も起こらないよう、工夫をこらして治療用ウイルスを設計するわけです。設計どおりのウイルスを造るため、遺伝子組換え技術を駆使します。人工的に造られた治療用ウイルスは、正常細胞には危害を加えず腫瘍細胞だけを破壊します。そのようなウイルスを利用した悪性腫瘍の治療法をウイルス療法といいます。

治療用ウイルスは、感染した腫瘍細胞中で増え、腫瘍細胞を破壊して周囲に放出され拡がって、さらに周囲に残存している腫瘍細胞に感染して増えつつその腫瘍細胞を破壊します。また、ウイルス療法で破棄された腫瘍細胞の破片が刺激となって、その腫瘍に対する免疫が形成され、腫瘍に対するワクチン効果を発揮する可能性も、研究では示されています。より詳しくは、書籍：ウイルスでがん消滅（NHK「サイエンスZERO」取材班編著）にわかりやすく書かれています。

● 悪性脳腫瘍に対するウイルス療法

単純ヘルペスウイルスI型（口唇ヘルペスの原因ウイルス）やアデノウイルスを始めとして、様々なウイルスがウイルス療法の開発に活用されています。中でもG47Δのように、単純ヘルペスウイルスI型を元に造られた治療用ウイルスは、実用化に近い段階のものとして注目されています。すでに欧米では悪性脳腫瘍の臨床試験で人体に投与されたウイルスはいく種類もあり、また脳腫瘍以外のがんの治療を目的としたウイルス療法の研究も進められています。

標準治療のみでは悪性脳腫瘍の治療は困難であるのが現状で、ウイルス療法などの新しい分野の治療法の開発が待たれています。近い将来に、誰でもウイルス療法を治療法として選択することができるよう、私たちをはじめ国内外で日々開発研究が続けられています。



栄養サプリ



今夜は何にしようかなあ

ひと手間かけたおいしい鍋特集

(材料は全て4人分です)



目的別に
ご紹介します

栄養管理室

旬の野菜を
味わいたい!

せりと鶏の塩鍋



- (材料)
- 鶏骨つき肉(ぶつ切り): 1kg
 - 米: 大さじ3
 - 水: 10カップ
 - 昆布: (5cm角)2枚
 - 酒: 1カップ
- ▽鶏つくね
- 鶏挽肉: 200g
 - みそ大さじ1
 - 酒: 大さじ1
 - 卵黄1個分
 - パン粉: 大さじ3
 - 葱みじん1/4本
- せり: 2束
 - 葱: 3+3/4本
 - 粗塩: 小さじ1強
- ▽薬味(粗引黒コショウ・柚子コショウ)

(作り方)

- ①さっと洗った米と、水、昆布を鍋に入れ、しばらく浸しておく。
- ②①を強火にかけ、あらって水気を切った鶏肉を入れ、酒を加える。再び煮立ったら火を弱めてアクをとり、中火で20分煮る。
- ③鶏つくねの材料を全てよく手で練り混ぜておく。
- ④せりは根を落とし、食べやすい長さに切り、葱は斜め薄切りにする。
- ⑤②の鶏肉と、ザルでこした煮汁を卓上鍋に移し、米は裏ごして加え、煮立て、粗塩を加えて味をととのえる。
- ⑥③の鶏つくねだねをスプーンですくって⑤に落とし入れ、火を通す。
- ⑦葱、せりを加えて出来上がり。各自取り分けて粗挽き黒コショウ、柚子コショウを添えてどうぞ。

★鶏肉のうまみが出た残り汁に、ラーメンを入れてもおいしいです。

エビ風味のトマト鍋

トマトの抗酸化作用で風邪予防!



- (材料)
- 鶏骨つき肉: 1kg
 - はまぐり: 5~6個(中)
 - 豚バラ肉薄切: 1kg
 - ゴボウ: 1本
 - 春菊: 1束
 - 玉ねぎ: 1個
 - 白菜: 1/4束
- ▽だしスープ
- エビ: 5尾(1尾50~60g)
 - にんにく: 2かけ
 - オリーブオイル: 大さじ3
 - ホールトマト缶: 1缶
 - 水: 4カップ

(作り方)

- ①エビは頭を取って殻をむき、背ワタを取り除いておく。エビの頭やミノ、殻は別にとっておく。ゴボウをさがききに切り、玉ねぎはくし切りにする。春菊、白菜は食べやすい大きさに切っておく。
- ②みじん切りにしたにんにくと、オリーブオイルを鍋へ入れ、中火にかけて香りを出す。エビを入れ、頭、ミノ、殻も焼き炒めながら木べらで細かくつぶす。ホールトマトを加えて炒りつけ、水を入れて煮立てる。
- ③②をこし器で絞こせば、だし汁の完成。
- ④卓上鍋に③を入れて、鶏肉、はまぐりなど、火の通りにくい材料から煮始め、火が通れば出来上がり。

★最後にパスタを入れて、スープスパゲティーはいかがでしょう。

新陳代謝を
あげたい!

スパイシーカレー鍋



- (材料)
- 鶏手羽元: 8本
- ▽ (A) 鶏肉の下味
- カレー粉: 大さじ1/2
 - 塩: 小さじ1
 - プレーンヨーグルト: 1/2カップ
 - ニンニク、生姜(おろす) 各小さじ1
 - ケチャップ: 大さじ2
- 玉ねぎ: 1/2個
 - じゃが芋: 2個
 - ホウレン草: 1/2束
 - 赤パプリカ: 1個
 - エリンギ: 1パック
 - カレー粉: 小さじ2
 - 顆粒コンソメ: 小さじ1
 - 唐辛子: 1本
 - 塩: 小さじ1/2

(作り方)

- ①ポリ袋に鶏肉を入れ、(A)を加えてよくもみ込み、20分以上おいておく。
- ②じゃが芋は皮をむいて乱切りにする。ホウレン草、赤パプリカ、エリンギは食べやすい大きさに切り、玉ねぎはみじん切り。唐辛子は種を取る。
- ③鍋に水4カップ、玉ねぎ、唐辛子、コンソメ、塩、カレー粉を入れ強火にかけて煮立ったら中火にして①を入れる。じゃが芋も入れて柔らかくなったらエリンギ、パプリカ、ホウレン草を加えて火が通れば出来上がり。

★残ったスープを、うどんやご飯にかけて食べるのがおすすめ。

なめらかチーズ鍋

カルシウムで骨元氣!



- (材料)
- 鶏もも肉(ぶつ切り): 1kg
 - 焼豆腐: 1丁
 - はまぐり: 5~6個
 - しめじ: 1パック
 - かぶ: 2束
 - 白菜: 1/8束
 - ミニトマト: 1パック
- ▽チーズだし
- クリームチーズ: 200g
 - 白みそ: 200g
 - 顆粒コンソメ: 大さじ1
 - 水: 1000cc

(作り方)

- ①チーズだしを作る。ポウルにクリームチーズ、白みそを入れて混ぜる。水にといた顆粒コンソメを少しずつ加えて、泡だて器でダマが残らないように伸ばせば完成。
- ②①を鍋に移し火にかけ、食べやすい大きさに切った具を入れてクツクツ煮えたら出来上がり。

★お好みでゴルゴンゾーラチーズなどを加えると、より濃厚になります。



秋季防災訓練を終えて

看護部長 武村 雪絵

10月25日、外来を除く病院全部署で大地震の発生を想定した防災訓練を実施しました。ご入院中、ご来院中の皆様には、この場を借りて、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今年は7月にも医科学研究所全体で防災訓練を行いました。そのとき病院では、各部署での安否確認、災害対策本部の設置、各部署から災害対策本部への報告の訓練を行いました。10月の訓練ではそれらに加えて、揺れによる転倒や熱傷などいくつかの被害を想定し、職員が患者役になって応急手当の訓練をしました。また、各部署で火災が起きた想定で、消火器や消火栓による消火活動、避難誘導の訓練もしました。ご入院中の方の中には、看護師の安否確認に応じてくださったり、避難誘導に参加してくださった方もいたとお聞きしています。ご協力ありがとうございました。

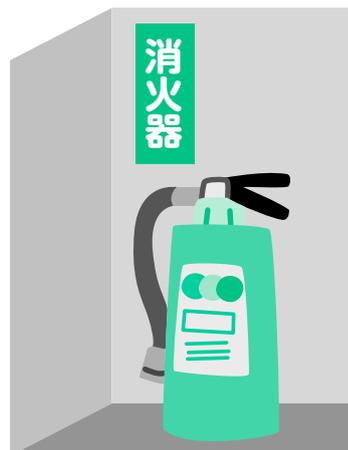
訓練をしたことで、職員間の連絡方法の見直し、避難経路を確保できる物品配置、防災用具の配備を進めることができました。災害時行動指針も現在、修正作業中です。看護師にとって、消火栓ホースを実際に伸ばし、届く範囲を確認したことも、いざというときに役立つ貴重な経験でした。専用の道具がなくても、その場にあるもので代用して応急手当をする訓練が必要なこともわかりました。

災害はいつ起きるかわかりません。特に夜間や休日の看護職員は、いざというときにどうやって患者の安全を(ノ)

(ノ)守るか、緊張しながら勤務しています。私自身、スタッフだった頃、夜勤のたびに、新人看護師とふたりでどうやって50名の患者を避難させるか、そのことを考えると胸がドキドキし、頭の中で何度も手順をイメージしながら、真夜中に避難経路の物品を片付けていたものです。

患者の皆様が安心して療養できるように、職員が安心して働けるように、そして、いざ東京に大地震が起きたとき、被害を最小限にとどめ、病院機能を速やかに復旧して診療体制を整えるために、これからも繰り返し防災訓練を行っていきたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

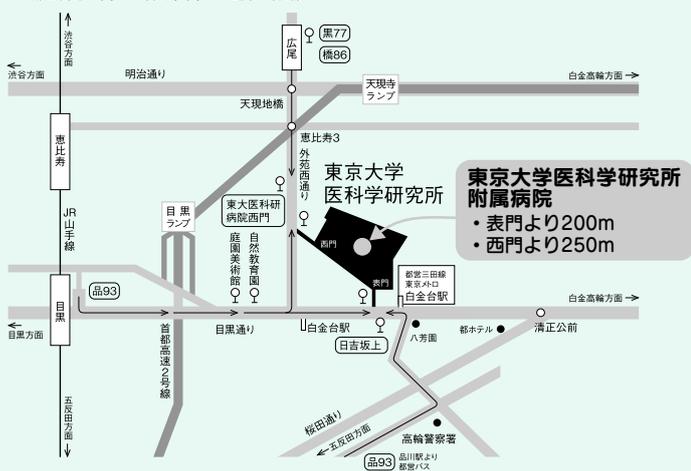
とにかく怖いのは火災です。病院内での禁煙にはくれぐれもご協力ください。



東京大学医科学研究所附属病院・ご利用案内

診療科

- 内科 (総合、血液腫瘍、感染症、アレルギー・免疫、代謝・内分泌、循環器、消化器)
- 小児科 (小児細胞移植)
- 外科 (一般、腫瘍、消化器、乳腺)、整形外科 (関節)
- 放射線科、麻酔科、遺伝相談



外来診療日

月曜日～金曜日 (祝日および年末年始を除く)

診療受付時間

- 8:30～11:30 (初診・再診)
- 12:30～16:00 (再診のみ)
- ※予約時間の15分前までに受付にお越しください。
- (確実にご受診いただくために、ぜひ予約をお取りください)
- 予約専用電話 (予約受付および変更)
- 診察: 03-5449-5560
- 検査: 03-5449-5355
- 受付時間 8:30～17:00 (外来診療日のみ)

アクセス

- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線で「白金台駅」下車
- JR 山手線目黒駅東口から都バス品93大井町競馬場行で「白金台駅」下車、あるいは都バス黒77千駄ヶ谷行か橋86新橋駅行で「東大医科研西門」下車、または駅より歩いて約15分、タクシーで約5分 (1メーター)
- JR 品川駅から都バス品93目黒駅行で「白金台駅」下車
- 東京メトロ日比谷線広尾橋から都バス広尾橋から黒77または橋86目黒駅行で「東大医科研病院西門」下車
- ※患者専用駐車スペースも数台分ございます。ご利用は受付にお申し出ください。